

## 「北秋田市珪藻土等地域資源利活用検討会」

### 【事業目的】

秋田県北秋田市の鷹巣地区と森吉地区には、植物プランクトンの一種珪藻が堆積して化石になった「珪藻土」の鉱床があり、推定埋蔵量は700万tと予想されている。無数の細かい穴がある珪藻土は、断熱性や調湿性に優れ、ろ過の働きを助ける材料や断熱材、土壌改良剤などとして活用されている。地元企業の主力製品はろ過材で、中でもビールメーカーへの出荷が多く、ビールから酵母を除去する工程のろ過作業に欠かせない存在となっている。

豊富な地域資源である「珪藻土」の付加価値は高いと思われるが、当市の主な企業種は木材・木製品業と縫製業であるため、直接的な使用は想定されないため、地元企業等の認識は低く、限られた地元事業者からの域外企業への原料提供しかなく地域の産業として活用されていないのが現状である。

本検討会は、まず「珪藻土」の特性を広く地元企業等に認識してもらう。そして、地元企業からはほとんどが原料としてしか出荷されていない商品を産学官のそれぞれ有する知識やノウハウなどを組み合わせ、地元企業間の連携を広げて新商品等の開発を目的とする。また、新たな珪藻土製品に併せ地元資源とのマッチング等も検討し、幅広い業種が活用出来る可能性を検討する事を目的とする。

### 【事業実施状況、成果】

- 「北秋田市珪藻土等地域資源利活用検討会」開催

平成22年11月26日(金) 14:00~15:30 於)北秋田市役所

- 「珪藻土の新たな活用による地域活性化フォーラム」開催

平成23年2月4日(金) 14:00~16:00 於)北秋田中央公民館1階ホール

◎フォーラムの事例発表)

- ・「珪藻土製品の特徴と使用例」
- ・「珪藻土の活用と今後の展開」
- ・「珪藻土を配合したリン吸着剤の開発と利用」

◎パネルディスカッション

テーマ:「珪藻土の新たな活用による地域活性化」



### 【今後予想される事業効果】

今後は市民が珪藻土をどう理解しているか、どう使うのか、どう使いたいか、それを求めているのはどのような人達なのかといった地域の意見や考え、アイデアなどをまとめ上げていく。

地域の活性化に取り組んでいる人や団体を活用して「市民分化会」を設置し、今後の地域づくりのためのネットワークや仕組みづくりを進めていくことが必要になる。

事業については『珪藻土特性を活用した冷却アイテムプロジェクト(案)』を予定しています。事業の採択関係もありますが、23年度中を考えています。珪藻土の特性を活用した「珪藻土冷却アイテム」の開発と開発製品被災者提供システムの検討も予定しています。